

西光寺だより

第一一四号 令和二年 二月一日発行

あつという間に2月を迎えました。暖冬といいながらも急に寒かったり、風が強かったりと気温や気候の変動に身体を合わせていく努力をしながらの日々であります。

また、インフルエンザや新型コロナウイルスなど見えない恐怖を感じながら、ニュースや情報を見ながら日々過ごしていることでもあります。

特に新型コロナウイルスについては、「飛沫感染」「接触感染」の能力は持つが、「空気感染」の能力は持たないと考えられているため、やはり頻繁な手洗い、うがい、そしてマスク着用といった予防が推進されているようであり、特に手洗いは、手の平・手の甲、指の間、親指、手首などを2分半じっくり洗うのが効果的なようです。

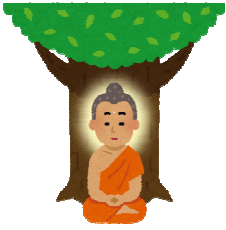
そして前々号のクイズの答え、全6問の答えを並び替えると出てくる言葉、それは、**Buddha** (ブツダ) であります。大文字になっているのがBだけだったのでわかり易かったと思います。

皆様もご存じであるブツダ。仏のさとり《仏教》をひらかれた方のことで、お釈迦様のことであります。浄土真宗をひらかれた親鸞聖人の、

「更に親鸞、珍らしき法をも弘めず、如来の教法をわれも信じ人にも教え聞かしむるばかりなり。」

(親鸞は今まで誰も教えなかったことを伝えているのではない。お釈迦様の説かれた教え、仏教を、我も信じ、皆さんにもお伝えしているだけである。)と、浄土真宗が仏教であるお言葉を思い出すことでもあります。

こうしてクイズを通して皆様と学んでまいりました。今年も色々な形で繋がれたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七一一

電話 〇七二一六二一四七九四

FAX 〇七二一六二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

◆先月の報告◆

①一月二八日(月) 水尾の勝光寺で茨木東組実践運動研修会『子供の貧困問題』と題しまして、茨木市でご活躍されている辻由起子さんをお招きし、研修会を行いました。お天気も曇り空で、風が非常に強い日でありましたが、茨木東組の僧侶・門信徒と共に学ばせて頂きました。

前回は茨木東組と総代会合同で研修会を行い、西光寺でさせて頂きました。その時も『貧困問題』ということでさまざまな資料を通して本願寺の専門の方に来ていただき、お話を伺いました。

この問題については本願寺住職である専如門主が「念仏者の生き方」の中で「経済格差」を指摘され、それによって貧困問題を引き起こし、これからの平和な世界の実現にむけて、積極的に克服すべき課題であるとお示し下さいました。

それにともない茨木東組でもさまざまに取り組み、この度わが町、茨木市で活動されている現場でのお話を直接聞かせていただくことになりました。

プロジェクトを使つての解りやすいお話、前の研修では世界での貧困についてのことでしたが、より身近なお話はより一層深刻に感じることでありました。

・核家族が増え、共働き夫婦が増え子供と接する時間がなく、周りの助けもない状態。

・そこから虐待や暴力、孤独に繋がってゆく現状、茨木市は平成30年度959件児童虐待・DV相談。

・生活困窮家庭やひとり親家庭の子供に対する学習・生活支援。

・子供の貧困のために子供食堂を実施し、学校・地域で助け合う「互助」を築く。

・人は環境で育まれることを改めて知り、周りから支えていく。そういつたことを研修致しました。

まずは知ること、今の状態を理解すること。出来ることは何かを見極めていきながら、少しずつ茨木東組全体でこれからも取り組んでまいりたいと思うことであります。

ありがとうございました。



②二月二日(日) 西光寺本堂にて総代様、役員の皆様、婦人会の皆様、そして合同で行う常稱寺住職、皆さんで撰津十二日講御消息披露法要の設置準備をいたしました。

八年に一度の法要。決して一人ではできない法要をこうして皆様と作り上げ、共に勤めることが出来るという感謝。有り難いことであります。

当日は皆さんとご一緒に参拝できたらと思うことであります。本当にありがとうございました。



◆二・三・四月の行事◆

・二月 十二日(水)

撰津十二日講御消息披露法要

午後一時より

西光寺本堂

・三月 二十日(金・祝)

仏教婦人会総会・追弔会

午前十一時三十分から追弔会(正信偈)

午後十二時〜 お齋

午後一時〜 総会

西光寺本堂

・四月 四日(土)

春季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御講師 本願寺派布教使 宮部 誓雅 師

※なお、追弔会は午後一時三〇分より厳修致します。